まが玉づくり

概　　要		勾玉づくりを通して、古代の人々の暮らしや文化に触れさせるとともに、形や仕上がりを工夫しながら作品を制作させ、ものづくりへの興味・関心や創造性を高めさせる。
ねらいとして 考えられること		① 勾玉づくりを通して、古代の人々の暮らしや文化への興味・関心を高めることができる。 ② 自分なりに創意工夫しながら作品を制作し、表現する楽しさや完成の喜びを感じることができる。 ③ 仲間と協力し、互いに助け合いながら、最後まで粘り強く活動に取り組むことができる。 ④ 創作活動で使用する用具を丁寧に扱い、物を大切にする態度を身につけることができる。
対　　象		小学校中学年から
人　　数		１００名程度　　※要相談
場　　所		創作室・研修室
時　　間		２時間程度
指 導 員		一部指導（開始前に説明あり）
活動時期		通年
経　　費		120 円
事前に準備確認するもの		なし
引率者の役割	活動前	① 所員と活動の所要時間や指導内容について確認する。 ② 参加者にトイレを済ませるよう指示する。 ③ 活動開始５分前までに所定の場所に班ごとに集合させ、人員点呼を行う。
	活動中	① まが玉の作り方についての説明を静かに聞かせる。 ② 活動に必要な材料や用具の配布を補助する。 ③ ひもを通す穴を開ける際は、きりの取り扱いに十分注意させ、けがをしないよう指導する。 ④ 私語や説明の妨げとなる言動が見られた場合は、適宜注意する。 ⑤ 紐やビーズ通しを行う。
	活動後	① 班ごとに机の周りに整列させ、人員点呼を行う。 ② 貸出用具を回収する。 ③ 創作室内や周辺にごみが落ちていないか確認する。 ④ 椅子が所定の位置に整頓されているか確認する。
安全上の留意点		① 金やすりや糸のこぎりを使用する際は、正しい使い方を指導し、けがの防止に努める。 ② 石を削る際は、削り粉が室内に飛散しないよう注意させる。
そ の 他		